

雑感

あれっ？ ちがうんだ！

三十数年前、フランス留学中のある日のできごと。授業中ふと見ると、教室の真ん中に座っている背の高いオランダ人の女の子が、突然革のリュックから赤い大きなニンジンをとって、ポリポリと食べ始めました。私はその光景にビックリし、目が点になりました。その上驚いたことに、周りのクラスメイト達(メキシコ、アルジェリア、エルサルバドル、米国、豪州、スペイン、マカオ、タイ etc. 出身)は何食わぬ顔で先生の話を聞いています。また先生もその子の方をチラッと見ただけで、たいして気にせず授業をすすめています。ニンジンを食べながら授業を受けるなんて、日本ではありえない光景でした。

イラン人女性のクラスメイトの家に女友達と遊びに行くと、彼女と同じく学生の夫とその男友だち6〜7人が美しい絨毯が敷かれてある部屋の一角でにぎやかに話をしています。

た。私たちは同じ部屋の反対の角で腰を下ろし、エキゾチックな室内を眺めながらくつろいでいました。男女別々の社会を伝統とし、それぞれのグループで集い楽しむ見慣れない光景は、何だか不思議に思えました。

一方、街を歩くと、おしゃれなピアスをして小学校に通う子どもたちに自由の風を感じ、喫煙反対を声高らかに訴え、デモで練り歩く高校生たちの行動力に感心しました。同じ地球に生まれたのに、こんなにも違う世界に生きているのかということに数多く出会いました。

さまざまな風習や文化の違いを目のあたりにし、受け止められる環境に自分がいたことで、その後の世界観がガラリと変わったように思います。この学園の子どもたちが、多様な世界に生きる人たちと出会い、違いを受け止め、自らどんなことが必要かと考えられる人になってほしいと願っています。(芳仲ま)

各種イベントのお知らせ（1月～3月）

第2回 これからの子育て・教育を考えるフォーラム

多様な教育の存在や活動を多くの方々に知っていただくことを目指すフォーラムです。1日目は、児童文学者の清水真砂子さんの講演のほか、多様な教育の実践者によるパネルトークや参加者で行うグループ・ディスカッションなどがあります。2日目は、「学習権の保障と支援の仕組み」、「オルタナティブな学び研究発表」、「つながる・広がる！実践交流」の分科会があります。
【日 時】2月7日（土）13:00～17:00
8日（日）9:30～15:00

【会 場】I-Site なんば2F（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル）
【参加費】1500円（1日）、2000円（2日）
【主 催】オルタナティブな学び実践交流研究会実行委員会、大阪府立大学大学院
【申 込】こくちーず <http://kokucheese.com/event/index/245404/>

ESD 世界会議報告会 ～ みらい・まなびカフェ ～

1月12日（月・祝）13:00～15:00、箕面こどもの森学園で「ESD 世界会議報告会 みらい・まなびカフェ」を開きます。前半は、10月に岡山で開かれたユネスコ主催のESDユース・コンファレンスに日本代表として参加した本学園スタッフ・中尾有里の報告。後半は、これからの世界と学びについて参加者同士で語り合います。

教育に興味のある方、持続可能な開発や環境課題に携わっておられる方、社会や新しいものに興

味のある人…ぜひぜひお越しください。参加費無料。お申込みは箕面こどもの森学園まで。

子育てカフェ 「子育てハッピーアドバイス」

子どものこと、自分のことなどゆるりとお話しましょう。お友だちと一緒にお気軽にお越しください。(1回だけの参加可/保育あり)
【日 時】第5回 1月30日（金）10:40～12:00
第6回 3月6日（金）10:40～12:00
【場 所】箕面こどもの森学園
【講 師】守安あゆみ(子育てハッピーアドバイザー)
【参加費】各回500円
【定 員】10名(3名以上で開きます)
【申 込】電話、FAX またはメールで箕面こどもの森学園まで

ロハス in こどもの森・春フェスタ ～ ゆるーりライフ&ライブ ～

今年も恒例のロハス・フェスタを開きます。ロハスな軽食、フェアトレードの雑貨や手作り雑貨など、人と自然にやさしいお店の人たちがこどもの森に大集合。楽しい親子工作、森の音楽隊、のびのびお絵かきコーナーなど、お子さん向けのイベントも。あわただしい日常生活からちょっと離れて、ゆったりとした時間を味わいませんか？ 参加費無料。
【日時】3月14日（土）10:30～15:00（雨天決行）
【会場】箕面こどもの森学園
【主催】ロハス in こどもの森実行委員会

こんな学校に出会いたかった！！

♪♪ 箕面こどもの森学園生徒募集 ♪♪

2015年度の小学部と中学部の新1年生の入学者を募集しています。

他学年の生徒も、随時、入学申込みを受け付けています。

募集人数：小学部1年生 5名程度
中学部1年生 5名程度
その他の学年生 若干名

対象年齢：小学部 6～11歳（小学5年生まで）
中学部 11～12歳（現在小学6年生）

場 所：箕面市小野原西6丁目15-31

見 学：月・水・木曜日の午前中（ご相談の上で見学日を決めます）

体験入学：見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676

メール info@kodomonono-mori.com



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

明けましておめでとうございます。2015年の幕開けです。

今の校舎に移転した当初は、生徒数10名に満たなかったこどもの森も、今は20名前後の子どもたちが学ぶ学校になり、この4月には、中学部が開設します。よりよい学びのあり方を求めて、スタッフ一同、そして保護者の方々とともに、日々話し合いを重ねてきました。

皆様には、この新しいスタートを見守り、お力添えくださいますよう、お願い申し上げます。(沼尾)



テーマ「平和と憲法」

2学期は、こどもの森の理念にも関わる大切なテーマを学びました。

前半は過去の戦争体験について、語り部の方のお話を聞いたり、平和ミュージアム見学に行ったりしました。後半は「原爆と折り鶴」「戦時中の暮らし」「世界地図から考える平和」「平和の創作劇」の4つのグループと個人テーマに分かれて、それぞれ学びを深めました。

最後に、学んだことをまとめて発表しました。折り鶴グループは「おりづるの旅」という絵本を読み、作った千羽鶴を見せてくれました。戦時中のくらしグループは当時の食事づくり体験（いものつるの佃煮など）と暮らしについて、また、世界地図のグループはテロや交通事故の多い国について調べたことを発表しました。平和の劇のグループはオリジナル脚本のお芝居を披露してくれました。個人テーマではどうして戦争が起きるのかや、平和の町をレゴで表現した人の発表がありました。

自分を取り巻く世界の中で、どう民主的に生きるかを考えた2学期でした。

ブログ (<http://kodomonono-mori.com/blog/>) や動画 (<http://kodomonono-mori.com/library/library.html>) があります。ぜひご覧ください。(守安)

修学旅行

12月8日～9日は、待ちに待った修学旅行。この日のために高学年の子どもたちは、資金を集め、行き先を決め、宿に電話をかけ、行き先と交渉して、たくさんの準備をしました。子どもたちが中心の修学旅行です。

6年生が提案し、行き先はグランフロントの中にある体験型施設やUSJ、長居ユースホステルに決定しました。

ユニークだったのは1日目に体験した真つ暗闇でのワークショップ、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」です。視覚が全く働かない程の暗闇にチームで入り、盲目の

方の案内でクリスマスカード作りやお菓子の時間を楽しみます。始めは少し不安でも、だんだん慣れてきて、他の感覚が研ぎ澄まされて来ます。お互いに触れたり、名前を呼び合ったり、あっという間に過ぎた温かな時間になりました。



修学旅行の後も、「自分たちは役割を責任持って担えたか」を振り返って真剣に話していた様子が印象的でした。(中尾)

木工ランド

本年度は選択プロジェクトで「木工ランド」をすることになりました。講師は「どらちゃん」こと山崎定樹さんです。大阪南部の堺市から色々な道具を車に積んで来て下さいます。時には珍しい道具を使つての実演もあります。

低高学年合同、高学年だけの参加などで「ネームプレート」「マガジンラック」「屋台(修理)」「柵づくり」「テーブルカッター台」を作りました。

木工年齢は、経験年数で決まるので高学年だから上手くできるとは限りません。のぎり、キリの使い方も経験次第です。どらちゃんは、切ったり、穴を開けたりと応援してくれます。自分で考えてする個人プロジェクトではないので、みんな同じ材料で、同じ説明を聞いて、同じ手順で作るのですが、なぜかできあがりには皆違う！こども

発効日：2015年1月10日
発行者：NPO 法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西 6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail info@kodomonono-mori.com
URL <http://kodomonono-mori.com/>

の森の人たちは、人と比べて気にしたりしないので、みんな自分が満足出来たところで完成です！

さて3学期は何を作るのかな。(平嶋)

2014 年オープンスクール

11月15日（土）に開催したオープンスクール。多数、お申し込みをいただき、100人以上の方がご参加くださいました。参加者が多いので心配しましたが、受付や書籍販売、座談会など、スタッフだけではなく、たくさんの保護者の方のお手伝いのおかげで、無事に終えることができました。参加者の方からも、「座談会で保護者の方の意見が聞けたのがよかった」という感想をいただきました。

学園の子どもたちも、受付、学校案内、学校紹介、体験授業のサポートなど、参加者のみなさんをお迎えするスタッフとして協力してくれました。受付、学校案内、学校紹介担当の子どもたちは、しっかりとした受け答えをしながら、一生懸命、学校のことを参加者のみなさんに伝えていて、とても頼もしかったです。



在校生による学校案内

今年の体験授業は、木工、クッキング、手芸でした。体験に参加したお子さんは、いろんな作品を作って、とても楽しそうでした。こちらを担当した子たちも、優しく声をかけながら、体験のサポートをしてくれました。

子どもたちと保護者とスタッフと、みんなで創っている学校なんだということを改めて感じることでできた一日となりました。(藤田)



自由作文の紹介

びんていじかーしょー^(注)のこと
おうた（1 年）

いまから びんていじかーしょーのはなしをします。おらはびんていじかーしょーにいきました。1600 ベンツ ビート ゴルフ パンダ 2000GT フェラーリ ランボルギーニ おらはビートにのってたのしかったです。まだいきたいです。

(注) びんてーじかーしょー（ビンテージカー・ショー）
・・・古くて価値のある車を集めたショーのこと

ボートレーサー

かずと（5 年）

ぼくのお母さんの弟はいまボートレースをやっています。10月5日、4R(レース)にその弟が死んでもおかしくないレースをしていました。その事故はボートレーサーでおきるめずらしい事故です。だいたい1年に1人ボートレーサーが死んでいます。

その弟がなぜ死んでもおかしくないレースをしたかということ、弟は1号ていでした。1番を走っていましたが、うしろから2号ていの人が1号ていのボートにあたっ ててんぶくしました。うしろから3、4、5、6号ていの人が、そのてんぶくした人の上を走るのです。4つのボートがありそのプロペラは80kmで走っています。もちろん当たったら100%死んでいました。でも運がよく3、6号ていの人 は上を通りませんでした。4号ていの人 はギリギリ、5号ていの人 はよけてくれたのでよかったです。

もし死んでたら、日か火くらいにお葬式がありました。電話で聞くと「いのちが助かるとは思ってなかった!」と言っていました。これで終わります。

山 登 り

けいん（6 年）

僕は山登りが大好きやねん。
何故かっていうと、面白いからやねん。
いっつもな、お父さんで行ってるねん。
でも、いっつも休憩ばかりするねん。
でも言っとくけどな、千メートルの頂上まで着くねん。
で、お母さんの作った弁当食べるねん。
終わり

プロジェクト作品の紹介

まんげきょう

はるほ（1 年）

「まんげきょうのしくみ」

かがみが、さんかくけいになっています。モッさん^(注)のあたまのうえがのそくところになっています。とうめいのキャップに、いろいろなものをいれてみられるのがとくちょうです。

「じっけんしてみたもののなまえ」

いぬのフード、もじ、ゴムホース、ダンボール、すな、いし、くさ、きのえだ、ビニールひも、アルミホイル、セロハン、わた

「たいへんだったこと」

しゃしんをとるのがたいへんだったです。

「やってみてわかったこと」

① しろいかみのうえにおいてのそくより、くうちゅうにうかしてのそくほうが、きれいにみえます。

② なかにいれるものがおおすぎるときれいにみえません。

③ まんげきょうには、ひかりがひつようです。



(注)モッさん・・・モスバーガーのキャラクター。モスバーガーでもらったおもちゃの万華鏡は中身を自由に入れ替えることができるようです。

《卒業生だより》

こどもの森で学んだこと

藤田^{のぶき} 暢己(2012 年度卒業)

僕は、小学校5年生の2学期から、箕面こどもの森学園に通い始めました。僕がこどもの森で好きだった時間は、プロジェクトと全校集会です。なぜなら、プロジェクトでは、自分の好きな物を作ることができ、全校集会では、学校のいろいろな問題について、全校生徒で話し合い、多数決を使わず、みんなが納得いくまで何回も話し合うためです。

僕は、こどもの森の生活から、話し合いの大切さや人と人との違いの多様性などについて学ぶことができました。こどもの森で学んだことを、これからの人生に役立てていきたいと思っています。

ポ ー チ

りか（2 年）

どうしてつくったかという、かわいかったし、たのしそうだったからです。

つくりかたのせつめいをします。3しゅるいのぬのをつかいます。まずものを入れるぶぶんをつくりま す。キルトしんとうらのぬのをぬいあわせます。つぎに、口のぶぶんをつくり、ものを入れるぶぶんとぬいあわせます。さいごにパネ口金をとおします。これでかんせいです。かかったじかんは、だいたい5じかんです。気に入っているとこは、かわいいところです。

むずかしかったところは、ぬのとチェックのぬのをぬうところ です。できるように なったことは、こまかいともぬえるようになったことです。

かんそうは、すっこくむずかしかったけど、たのしかった。よこにすきまがあいてしまったのは、パネ口金が1cm たりなかったからです。

つぎは木工で本立てをつくりたいです。うちのリビングに本があふれているからです。



おとなの会やっています！

1 か月～2 か月に1 回、保護者のみなさんとスタッフが集まって、学校のこと、子どものことをざくばらんに話し合う「おとなの会」をやっています。普段なかなか会うことのできない保護者の方やスタッフとも顔を合わすことができ、おうちでの様子や学校での様子など情報交換ができ、みんなで子どもたちを見守りながら育んでいくことにつながっています。

10 月と11 月は、保護者の方とスタッフとで企画チームを作って、「平和について」「子どもへの接し方」を、ワークショップ形式で話し合いをしました。それぞれの思いや日頃の考えが交流できて、とても有意義な時間となりました。これからも、この機会を大切にしながら、子どもたちの学びや成長を見守っていききたいと思います。(藤田)



NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 9 月～12 月

ESD 世界会議に参加しました！

「教育って何のためにあるのか?」「これから の社会や教育をどうしていくか?」

11 月に岡山・名古屋にて『ESD に関するユネスコ世界会議』が開催され、150 の国や地域から閣僚を含む1100 人が参加しました。ESD とは、「未来や社会のことを考えて行動する人を育む学習」のことで、これらの問いに真っ向から向き合います。

私も会議に参加する機会を頂き、世界の若者 50 人と共に宣言を創りました。世界は自ら感じ・考え・行動できる学びに向かい、そのために学びの提供者は、従来型の教育者ではなくファシリテーター（案内人・促進者）であるべきだということが前提になっていました。

今後宣言を広め、世界の若者ネットワークを創るためにホームページを作っています。ぜひご覧ください。ESD Global Youth <http://www.esdyouth.org/>（中尾）

「子育てカフェ」

今年度から2 か月に一度、地域の親御さん対象に「子育てカフェ」を開いています。

子どもがいきいきと育つために必要なこと、それは自己肯定感。しつけや学習はこの自己肯定感がしっかりと育まれれば自然とできるようになります。そんな子育てのお話を、明橋大二さん著「子育てハッピーアドバイス」の認定アドバイザーの守安がお話させていただき、後半は参加者のみなさんと子育ての悩みなどについて自由に語り合ったりしています。

1 回につき10 名までの少人数でなごやかにやっています。次回は1 月30 日（金）、3 月6 日（金）10 時40 分からです。（守安）

多民族フェスティバルに参加しました

11 月8 日（土）、こどもの森の近くの小野原公園で、箕面国際交流協会主催の多民族フェスティバルが開かれました。世界の屋台村やマーケットが並び、地域で活動する団体も出店し、2500 人の来場者がお祭りを楽しみました。

こどもの森は、子どものあそび場コーナーでぷによ玉・スーパーボールすくいのブースを出店。さらに学校紹介のパネル展示や子どもたちの手作り品販売、保護者の方によるミニ・フリマも店開きし、道行く人にこどもの森をPR しまし

た。これらの売り上げは中学部への寄付と、高学年の修学旅行の資金になりました。



とても楽しいお祭りでした。地域に根ざしたイベントになってほしいと思います。（守安）

25 回を越えた教育カフェ・マラソン

教育についての議論を、色々な角度から市民レベルで深めたり広げたりしたい。その積み重ねの先に子どもたちを豊かに育める教育がある、という思いで毎月続けている教育カフェ・マラソン。

第23 回は、「まちライブラリー」提唱者の磯井純充さんと、組織や仕組みの中にいる「人」、本を通したつながりについて。第24 回は、「ゆめ・風基金」代表理事の牧ロニーさんと、「障害」というテーマについて。第25 回は、「オトナノセナカ」代表の小竹めぐみさんと、生きる喜びについて。そして第26 回は、株式会社シーズクリエイイト社長の宮城正一さんと、「個性と調和」や地域とのつながりについて、参加者みんなで対話を重ねました。

ついに25 回を越え、目標の100 回の4 分の1 を達成です。皆様、ぜひご参加ください。（佐野）

中学部の開設準備の状況

いま、4 月の中学部開設に向けて着々と準備を進めています。中学部担当のスタッフに佐野純さんが決まりました。これまで中学部に関わるスタッフがカリキュラムの検討をしてきましたが、その骨子案ができました。それをもとに1 月18 日に保護者とスタッフ向けに中学部カリキュラム説明会を開きます。

中学部の入学者は12 月現在で4 名決定していますが、ほかに数名の入学希望者がいるので、目標人数5 名を上回るものと思われます。

中学部校舎の設計図はほぼ出来上がっており、細部を検討中です。工事は7 月末に着工し、12 月完成の予定です。肝心の建設資金の方は、まだ目標額の4 分の1 くらいしか集まっています。ぜひとも寄付金集めにご協力をお願い致します。（辻）

英文ホームページを作っています

昨年4 月にユネスコが推進するESD（持続可能な未来への教育）を実践するユネスコスクール（ESD 教育を推進する学校連盟）に加盟申請をしました。7 月末に本学園のスタッフ5 人が、韓国で開かれたIDEC（オルタナティブ教育国際会議）に出席し、各国のオルタナティブ教育関係者と交流しました。10 月には、岡山で開かれたユネスコ主催のESD ユース・コンファレンスに、本学園スタッフの中尾有里が日本代表として参加しました（ESD 世界会議の記事参照）。

これからは日本国内だけでなく、世界を視野に入れた教育が必要だと思います。そのために英語での情報発信が必要で、学園の活動を紹介する英文のリーフレットを作りました。1 月半ばには、学園ホームページに英文のページを追加しますので、ぜひご覧になって下さい。（辻）

イエローレシート・キャンペーン

毎月11 日に運営委員有志がイオン箕面店の店頭に立ちます。お客さんからその日の黄色いレシートを集めると、イオンから、領収書の1 %の金額がキャンペーンに参加したNPO 法人に寄付され、こどもの森学園にとって教材購入の貴重な財源の一部になっているからです。昨年は、学園の在校生や保護者の方々にも、キャンペーン活動に参加いただきました。今後も、毎月11 日のお買物の際は、ご協力をお願いします。（松崎）

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を！

箕面こどもの森学園では、学園の運営資金と中学部の校舎を建てるための資金を集めています。学園の活動に協力していただける方は、次のいずれかの方法でご支援を願います。
◆会員になる（年度会費3,000 円）
◆資金を寄付する（運営支援・校舎建設支援）
◆情報・労力を提供する

振込先：加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
〈郵便振込〉00980-7-232403
〈郵便口座振込〉14020-68190721
〈銀行振込〉

ゆうちょ銀行四〇八支店（普）6819072
池田泉州銀行小野原支店（普）72258

※会員になられる方には入会申込者と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676
e-mail info@kodomo-mori.com